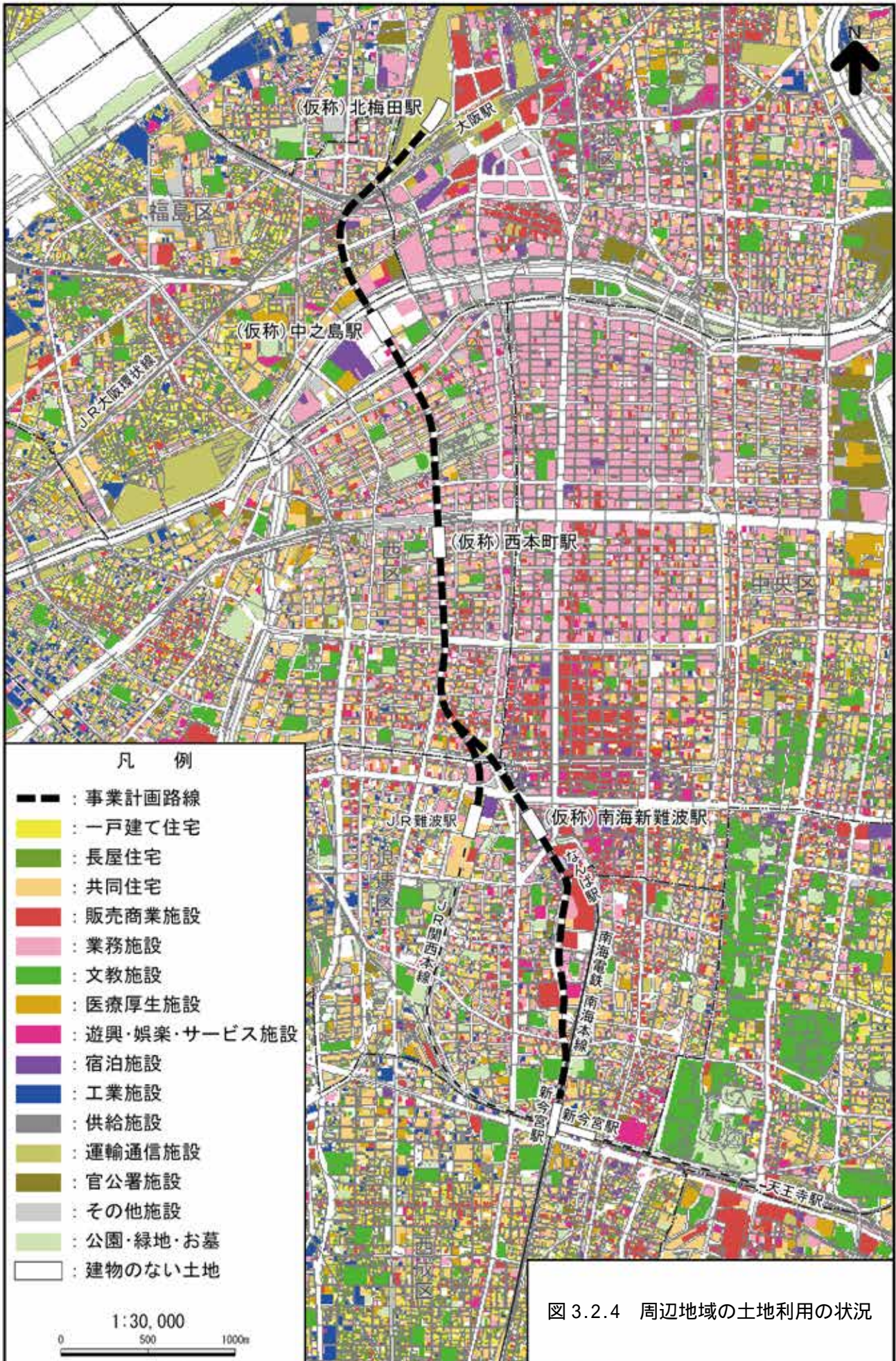


図 3.2.3 周辺地域の用途地域の指定状況

出典：「マップナビおおさか 用途地域データ」（平成 31 年 1 月 22 日現在、大阪市）



出典：「マップナビおおさか 土地利用現況データ」（平成 29 年度、大阪市）

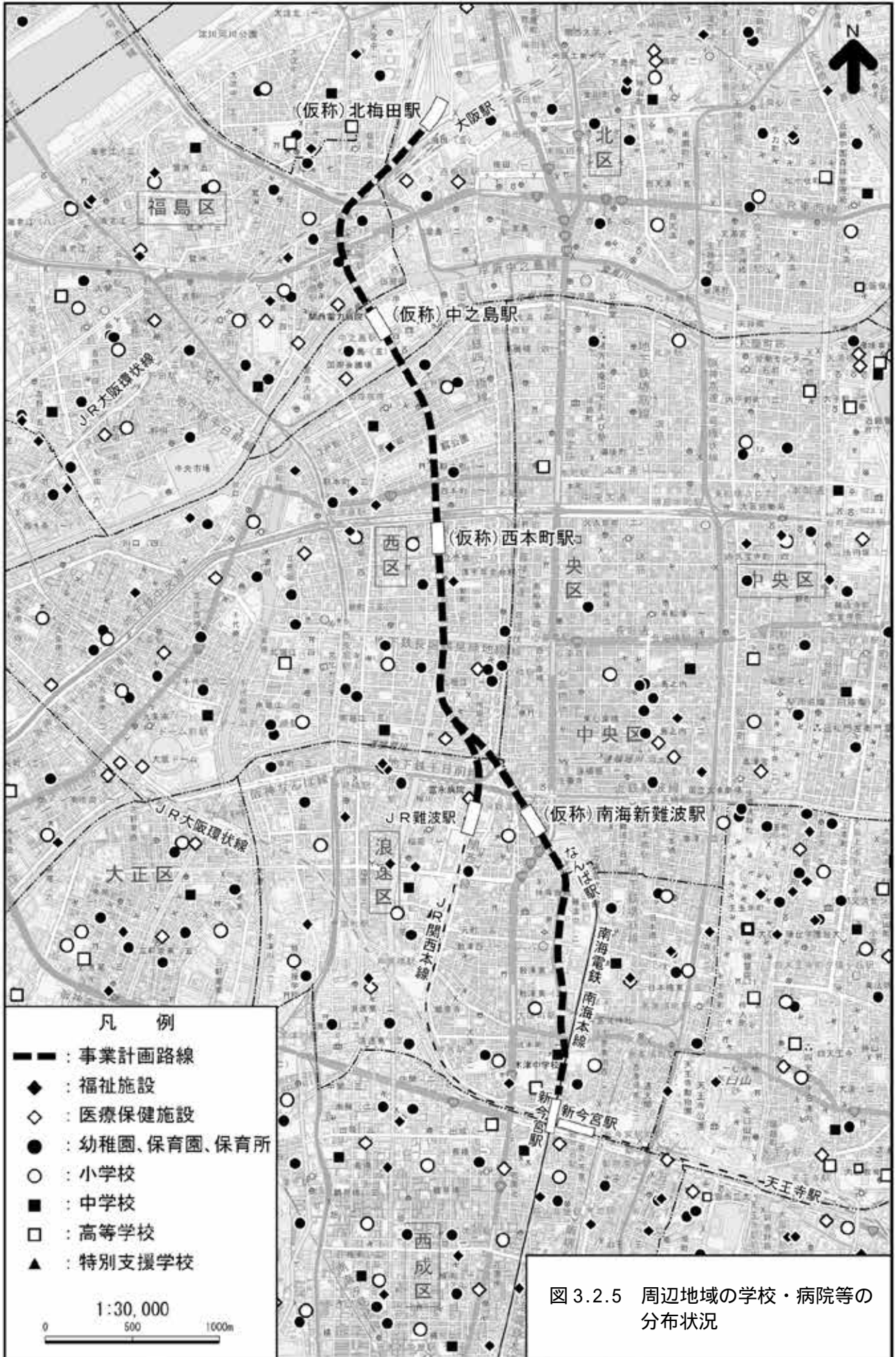


図 3.2.5 周辺地域の学校・病院等の分布状況

出典：「国土数値情報 医療機関(H22・H26 度)、福祉施設(H23・H27 度)、学校(H25 度)データ」（平成 22・23・25～27 年度、国土交通省 国土政策局 国土情報課）

(5) 水 域

(a) 河川水の取水口

事業計画路線の周辺地域における河川水の取水口は、図 3.2.6 に示すとおりであり、事業計画路線の近傍では工業用水用が 1 箇所あるのみである。この取水口は、河川水を利用した地域熱供給事業に使用されている。

(b) 地下水の利用状況

大阪市内における平成 29 年の地下水の利用状況は、表 3.2.14 に示すとおりであり、市内合計で井戸本数 334 本、採取量 7.6 千 m^3 /日・2.8 百万 m^3 /年となっている。

表 3.2.14 地下水の利用状況（平成 29 年）

地域名	用 途	平成 29 年		
		井戸本数 (本)	1日当たりの採取量 (千 m^3 /日)	年間当たりの採取量 (百万 m^3 /年)
大阪市域	工 業 用	7	0.7	0.2
	上水道用	0	0	0
	農 業 用	229	1.4	0.5
	そ の 他	98	5.5	2.0
	計	334	7.6	2.8

出典：「全国地盤環境情報ディレクトリ（平成 29 年度版）」（環境省）

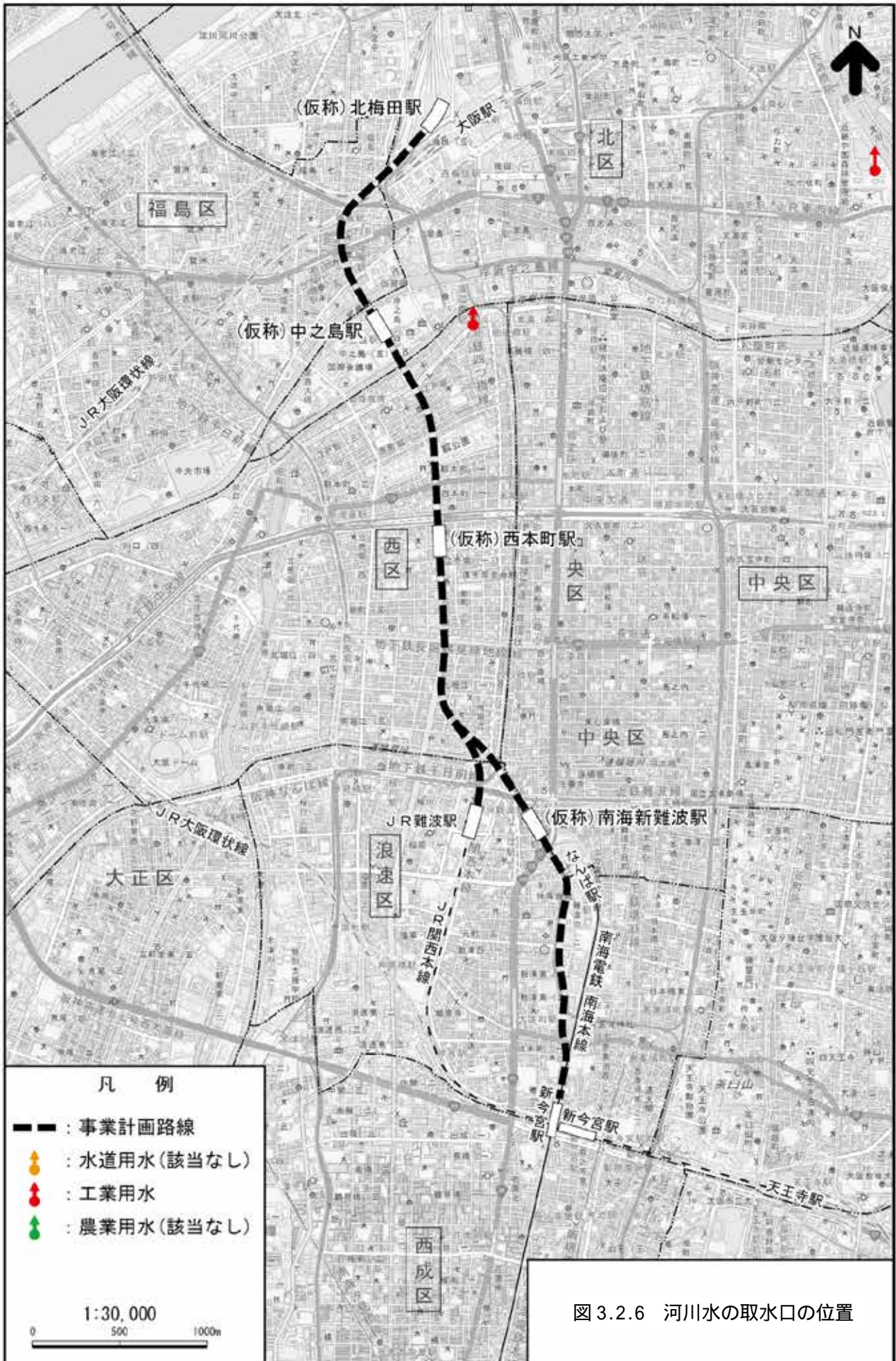


図 3.2.6 河川水の取水口の位置

出典：「国土調査・主要水系調査成果閲覧システム（近畿・淀川・大和川水系(平成 16 年度)」(国土交通省 国土政策局 国土情報課)

3.2.2 生活環境の概要

(1) 大気質

「大阪市環境白書 平成 30 年度版」(大阪市)及び「平成 29 年度 大気汚染濃度測定結果」(平成 30 年 6 月、大阪市)によると、大阪市内における平成 29 年度の大気質の現況は、以下に示すとおりである。

大阪市内の大気汚染常時監視測定局の配置は図 3.2.7 に、主な大気汚染物質の測定結果の概要は表 3.2.15 にそれぞれ示すとおりである。

(a) 二酸化窒素

平成 29 年度の二酸化窒素の市内年平均値は、一般環境大気測定局(以下「一般局」という。)で 0.019ppm、自動車排出ガス測定局(以下「自排局」という。)で 0.025ppm となっており、過去 10 年間(平成 20 年度～29 年度)の推移をみると、一般局・自排局ともに緩やかな改善傾向で推移している。

平成 29 年度は、市内の一般局(13 局)・自排局(11 局)の全局で環境基準を達成した。一般局では 15 年連続の全局達成、自排局では 8 年連続の全局達成となった。

(b) 浮遊粒子状物質

平成 29 年度の浮遊粒子状物質の市内年平均値は、一般局で 0.020 mg/m³、自排局で 0.021 mg/m³ となっており、過去 10 年間(平成 20 年度～29 年度)の推移をみると、一般局・自排局ともに緩やかな改善傾向で推移している。

平成 29 年度は、市内の一般局(14 局)・自排局(9 局)の全局で環境基準を達成した。

(c) 微小粒子状物質(PM_{2.5})

平成 29 年度の微小粒子状物質の市内年平均値は、一般局で 15.4 µg/m³、自排局で 15.6 µg/m³ となっている。

平成 29 年度は、市内の一般局 7 局のうち 3 局で、自排局 5 局のうち 2 局で環境基準を達成した。

(d) 光化学オキシダント

平成 29 年度の光化学オキシダントの昼間の 1 時間値(午前 5 時から午後 8 時)の市内年平均値は、一般局で 0.032ppm となっている。

平成 29 年度は、市内の一般局(13 局)の全局で環境基準を達成しなかった。

(e) 二酸化いおう

平成 29 年度の二酸化いおうの市内年平均値は、一般局で 0.005ppm、自排局で 0.005ppm となっており、過去 10 年間(平成 20 年度～29 年度)の推移をみると、環境基準を大きく下回る水準で推移

している。

平成 29 年度は、市内の一般局（10 局）・自排局（2 局）の全局で環境基準を達成した。

(f) 一酸化炭素

平成 29 年度の一酸化炭素の市内年平均値は、自排局で 0.3ppm となっており、過去 10 年間（平成 20 年度～29 年度）の推移をみると、環境基準を大きく下回る水準で推移している。

平成 29 年度は、市内の自排局（3 局）の全局で環境基準を達成した。

(g) ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン

平成 29 年度の有害大気汚染物質の市内年平均値は、ベンゼンが $0.63\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、トリクロロエチレンが $0.90\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、テトラクロロエチレンが $0.20\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、ジクロロメタンが $2.7\mu\text{g}/\text{m}^3$ となっている。

平成 29 年度は、ベンゼン（3 局）、トリクロロエチレン（2 局）、テトラクロロエチレン（2 局）、ジクロロメタン（3 局）ともに、市内の測定局の全局で環境基準を達成した。

(h) ダイオキシン類

平成 29 年度のダイオキシン類（大気）の市内年平均値は $0.031\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ となっており、市内の調査地点（3 地点）の全地点で環境基準を達成した。

(i) 降下ばいじん

平成 25 年度の降下ばいじんの市内 4 地点の平均値は、 $1.75\text{t}/\text{km}^2/\text{月}$ となっており、平成 18 年以降は概ね横ばいで推移している。

出典：平成 25 年度環境データ集（大阪市）

- 一般環境大気測定局 (15局)
- 自動車排出ガス測定局 (11局)
- △ 大阪府所管測定局 (1局)



(平成29年度)

一般環境大気測定局							自動車排出ガス測定局							
測定局名	NO NO ₂	SPM	PM2.5	Ox	HC	SO ₂	原向 風速	測定局名	NO NO ₂	SPM	PM2.5	HC	SO ₂	CO
1 菅北小学校	○	○	○					16 梅田新道	○	○				○
2 此花区役所	○	○	○	○	○	○	○	17 出来島小学校	○	○	○	○	○	○
3 平尾小学校	○	○	○			○	○	18 北粉浜小学校	○	○	○	○		
4 淀中学校	○	○		○			○	19 杭全町交差点	○	○	○			
5 野中小学校	○	○	○	○	○	○	○	20 新森小路小学校	○	○	○			
6 彌山中学校	○	○		○		○	○	21 海老江西小学校	○	○			○	
7 大宮中学校	○	○		○		○	○	22 今里交差点	○	○				○
8 聖賢小学校	○	○	○	○		○	○	23 上新庄交差点						
9 清江小学校	○	○				○	○	24 住之江交差点	○					
10 標陽中学校	○	○		○	○	○	○	25 茨田中学校	○	○				
11 今宮中学校	○	○		○		○	○	26 我孫子中学校	○	○	○			
12 九条南小学校	○	○	○			○								
13 茨田北小学校		○	○											
14 難波中学校				○										
15 南港中央公園	○	○	○	○		○	○							

大阪府所管測定局 (一般環境大気測定局)

測定局名	NO NO ₂	SPM	PM2.5	Ox	HC	SO ₂	原向 風速	CO
△ 国設大阪	○	○	○	○	○	○	○	○

出典：「大阪市環境白書 平成30年度版」(大阪市)

図3.2.7 大気汚染常時監視測定局の配置